

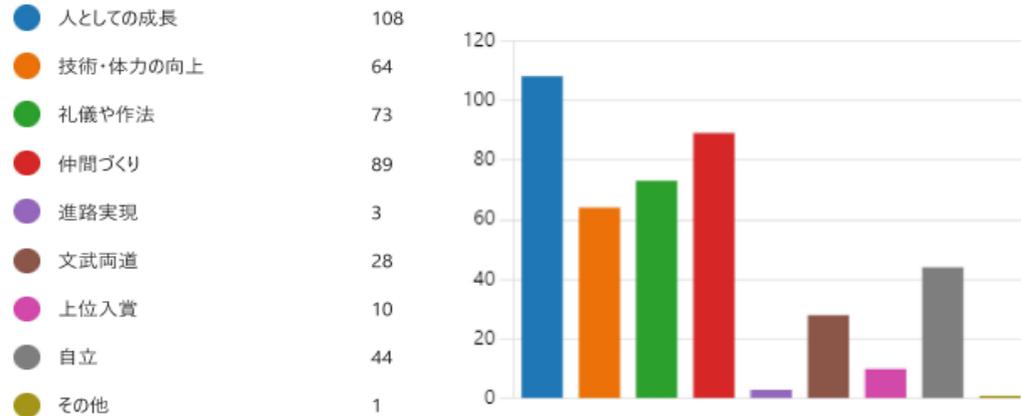
【概要版】鶴岡市部活動改革に関わるアンケート調査結果報告

教職員用

目的:今年度からの休日の部活動の段階的な地域移行に伴い、現状を把握し、市内における新たなスポーツ・文化環境の整備充実のために実施するもの。

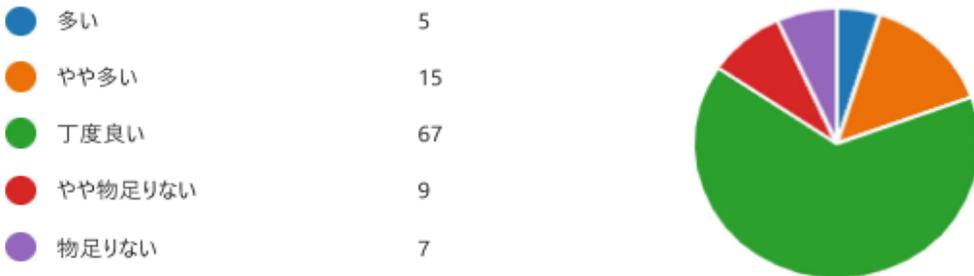
114人回答

スポーツ・文化活動を通して子どもに期待すること



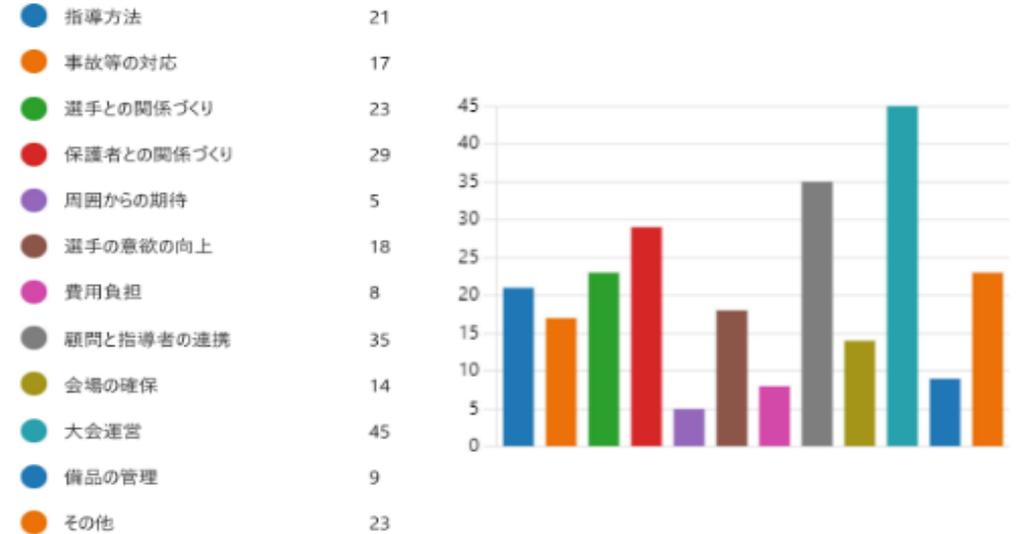
スポーツ・文化活動を通して子どもに期待することとして約95%の教職員が『**人としての成長**』と回答した。続いて『仲間づくり』と回答した。その他として「社会貢献に期待する」などがある。

現在の土日休日のスポーツ・文化活動時間及び日数



現在の土日休日のスポーツ・文化活動の時間及び日数は、約65%が『**丁度良い**』、約20%が『多い・やや多い』または『物足りない・やや物足りない』と回答した。

現在の土日休日のスポーツ・文化活動での困り感



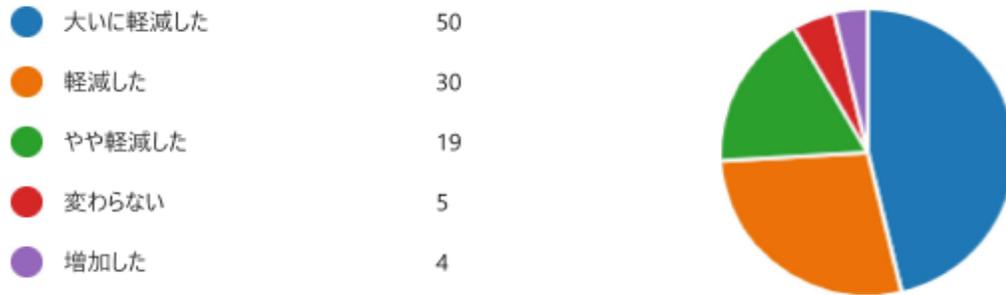
現在の土日休日のスポーツ・文化活動での困り感として、約40%の教職員が『**大会運営**』と回答した。その他として「指導者の確保」「役員(審判)としての関わり」「クラブ所属と所属なし関わり」「大会申し込みの事務作業」「格差」などがある。

現在の土日休日のスポーツ文化・活動の満足度



現在の土日休日のスポーツ・文化活動の満足度は、約75%が『**満足・やや満足**』と回答した。不満足の原因として、「連盟の仕事や大会運営は変わらない」「指導したいができない」等がある。

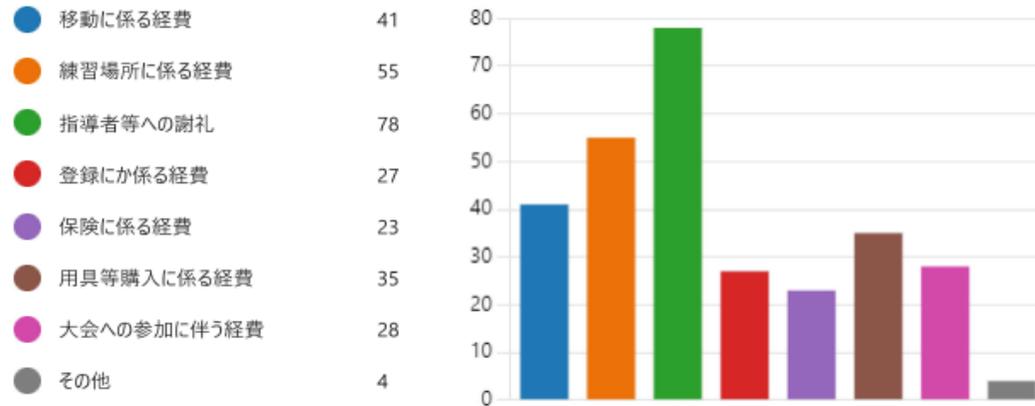
現在の土日休日の地域移行に伴う業務負担



現在の土日休日の地域移行に伴う業務負担は、**約92%**が『**大いに軽減した・軽減した・やや軽減した**』と回答した。

増加した理由として「大会に部活動でしか参加できず、逆にマネジメントが増加」「連盟から依頼される役割が増加」などがある。

これからの補助制度の必要性



約88%の教職員が、補助は『**必要**』と回答した。
特に「指導者等への謝礼」が必要であると**約68%**の教職員が回答した。
その他として、「兼職兼業手当」「中体連運営の外部委託」などがある。

これからのスポーツ・文化活動の在り方についての意見・要望等

- ・現在の方向を推進していただければありがたい。
- ・指導者の確保が難しい。指導者の善意に任せているところがあるので、金銭面で補助することは絶対に必要。
- ・大会の運営なども、連盟やクラブのコーチなど中心に進めていくなどの方向に徐々にシフトをしていく必要がある。
- ・各種大会参加についてもクラブでの参加に柔軟に対応していけるような仕組みの構築が必要。
- ・鶴岡市と他の市町村との取り組みの差を、いかに縮めるかが重要。
- ・休日の部活動の地域移行はなかなか進まないのが実態。地域の指導者の確保、指導者への謝礼、組織の在り方など、ハードルの高い課題が多い。
- ・土日の部活動指導で賃金をもらうよりも、自分や家族に費やす時間を確保したいというのは、採用された時からの願い。
- ・全国と県が本腰をいれて取り組んでくれないと本来の改善につながらない。本来、上から体制整備されることが望まれる。もっと加速度的に取り組んでもらいたい。特に山形県教委、県体協、県競技団体（連盟・協会）などからは積極的な舵取りをお願いしたい。
- ・今までの部活動は、勝利を目指す生徒と競技を楽しむ生徒が混在していたので指導が難しかった。そういう意味では生徒が自分の目的に応じて選択できるように選択の幅が広がるのが望ましい。

《考察》

- ・業務負担が軽減された、自身に合ったワークバランスが保たれるなどの理由から、『満足・やや満足』と回答した教職員が70%であった。
- ・「大会運営」が困難であると約40%の教職員が回答した。現在、競技によっては、教員が大会運営に関わらないと成り立たない現状が見られる。
- ・大会スタッフ及び指導者としての関わりについて、希望する教員が自由選択（兼職兼業含む）できることを望む声がある。